

インスピレーション研究のねらい

自分の興味のある分野・領域に対し「なぜ好きなのか」という動機を知ると、これから取り組みたい事柄に役立つ。動機の感動ポイントを例に挙げ、考察し、要点を調べながらまとめると知識量も増える。要点を元にどういった「目的」が可能であるのか、を“あくまでもただ考えてみる”のがインスピレーション研究の狙いである。ここでは可能性を絞ってしまわずに、いかに本質的に考えられるか、表面的な制作にならぬようにするための練習のようなものである。



一口に「○○」といっても、色んな捉え方がありますよね。

料理を例にとって、動機を考えてみましょう。

領域例：料理

動機

どんなところに感動しましたか？

1～5を左から順に

掘り下げてみましょう！

	感動ポイント ▶	感動の例 ▶	それはどんな分野,概念だろう？
1	おしゃれな料理が気に入った。	テーブルコーディネート,器がおしゃれ,おしゃれなスイーツ	フードスタイリスト,プロダクトデザイン,パティシエ
2	ジャムやパン作りなど材料から手作りできるのが気に入った。	原料(材料)の生成,インスタントではなく時間のかかる作業の楽しさ,発酵	料理人,パン屋さん
3	世界中の食事が面白いと思った。	馴染みのない国の料理,パスタの種類	食文化,民俗学,地理,世界情勢
4	きちんと正しく作った料理。	古来からの和食,正しい工程,	食の歴史,食文化,基礎
5	予備欄	予備欄	予備欄

なぜこの領域を選んだのか、下の表で説明し、掘り起こしなさい。

領域：

	感動ポイント ▶	例 ▶	それはどんな分野だろう？
1			
2			
3			
4			
5			

400~800字程度で考察しなさい。図示も可。用紙が足りない場合はコピーすること。

この領域をインスピレーションに、どんな名案が浮かんだか？ たのしく考えてみよう。

例) 面白い絵画のエスキース,何かの会合を開いて映像を撮ってみる など